

Weekly Report 2022-2023



創 立 1969年4月14日
 認 認 1969年4月23日
 チャーターナイト 1969年11月9日
 発 行 I T・広 報 委 員 会

会長：遠藤直樹 / 幹事：鈴木雅博 / 会長エレクト：磯崎裕谿 / 副幹事：吉岡哲哉 / S.A.A：吉本委子

今週のプログラム	第 2558 回	5 月 26 日
客話「豊かさって？」 関義雄 元高松西 RC 会員（元香川大学経済学部教授）		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第 2557 回	5 月 20 日
地区大会に例会変更		
担当者	プログラム委員会	例会場 レクザムホール



遠藤会長挨拶

・皆様こんにちは。5月19日、20日はクレメントホテル、レクザムホールにて国際ロータリー2670地区の地区大会が開かれました。ここ何年間にはコロナウィルス感染症拡大防止の為に開催出来ずにいましたが、今回は四国中のロータリアンが久しぶりに会って賑やかな地区大会となりました。

5月19日はRI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 & 懇親会でした。桂こけしさんとFM香川のアナウンサーの司会で美味しいお料理をいただきながら楽しい時間でした。その中で当日ゴルフコンペも開かれまして、なんとグランドシニア（70歳以上の会員が対象）の優勝者が当クラブの島谷会員でした。👏👏👏拍手。その夜は高松古馬場町も大変な人で帰りにタクシーがなかなか捕まりませんでした。

5月20日はロータリークラブの優秀クラブ、個人の表彰式、などが先にあり記念講演は東京大学の道田豊教授による「海洋プラスチックごみの何が問題か」を拝聴いたしました。とても有意義な2日間でした。ご参加いただいた会員様には大変お疲れ様でした。

地区大会にて



メイクアップ

- 5月16日 高松東RC 加藤 白川 江島
- 5月18日 高松RC 江島 川口 藤田

5月26日 今日は何の日	今日生まれの有名な人			
うなぎ供養(三島神社)/ふろの日	1977年	伊東美咲	1937年	モンキー・パンチ
1923年 第1回、ル・マン24時間耐久レース	1975年	つるの剛士	1934年	東海林のり子
1969年 東名高速道路全線開通	1948年	黛ジュン	1907年	ジョン・ウェイン
誕生花	ガーベラ(gerbera)、花言葉は“天真爛漫”			
誕生石	翡翠(jade)、宝石言葉は“幸運”			

四つのテスト
言行はこれに照らしてから
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

出席報告		出席委員長：大西一正	
会員数 /	41名	出席規準数 /	38名
出席者数 /	17名	欠席者数 /	21名
出席率 /	44.74%	ビジター /	0名
最終出席率 /	4月28日	45.95% →	62.16%

6月誕生日の樹	
8日 大島雄一 会員	コウゾ(栲)
10日 江島繁夫 会員	タイサンボク(泰山木)
19日 有友理裕 会員	サクランボ(桜桃)
記念樹	—記念日と誕生日365日の+1の樹— 財団法人経済調査会発行より

ロータリーの特別月間（6月）

ロータリー親睦活動月間（Rotary Fellowships Month）

クラブと地区は、特にロータリー親睦活動月間である6月中に、親睦活動を推進するよう奨励されている。ガバナーは、月信で親睦活動を推進し、親睦活動の一年の活動状況について地区研修・協議会または地区大会で報告するよう奨励されている。親睦活動グループは、活動内容やロータリー一般について関心を高めるため親睦活動の日を設けたり、会員に情報を伝えるため親睦活動のためのウェブサイト運営するよう奨励されている。

地区大会ゴルフ大会



6月の例会のご案内	
6月2日・9日	：休会
6月16日	：クラブ協議会・年次報告
6月23日	：クラブ協議会・年次報告
6月30日	：18:30 夜例会・新旧会長幹事慰労激励会

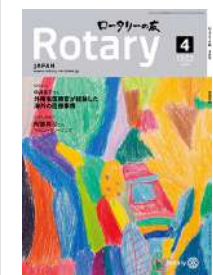
次週のプログラム 第2559回 6月16日

クラブ協議会・年次報告	
担当者	会長・幹事・各委員長
例会場	JRホテルクレメント高松

雑誌委員会より - 5 -

雑誌委員会委員長 石川洋介

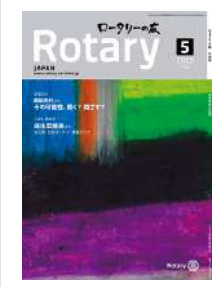
雑誌委員会よりロータリーの友「4月号」と「5月号」の記事を合わせてご紹介をさせていただきます。



「4月号」の9頁～12頁にかけて、「この人訪ねて」の欄に国内2670地区の中、最も歴史ある今治クラブの会員で、チェンソーを抱えた女性会員が紹介されています。

男女雇用機会均等法が提唱されている昨今ですが、林業は常に危険と隣り合わせの作業で、女性が関わることの少ない職業の一つとっていいでしょう。由緒あるクラブに入会したことで最初は緊張のため例会で食事が喉を通らなかったとの事ですが、現在では青少年奉仕活動の一環として地元の高校でインターアクトクラブを立ち上げたり、東日本大震災の被災地のインタークラブへの訪問やRYLAの研修など行動力を発揮しクラブの中心会員として活躍されていることが紹介されています。

ATWORK欄の25頁に、「子供たちの国際交流に一役」と題して、高松東クラブが地区補助金を活用し地元の円座小学校の生徒を対象に、子どもたちがグローバル化する社会に適応できるよう支援する事業を行ったことが掲載されています。具体的には中国・ベトナムなど4か国から米山奨学生と語学学校の外国人講師との交流会です。地域で外国との繋がりを見だし、ロータリーが推進する多様性、公平さやSDGsにも繋がる内容であったと報告されています。



「5月号」の9頁～12頁にかけて、「この人訪ねて」の欄には日舞若柳流の師範名取で白石ロータリー衛星クラブの会員が紹介されています。これまで所属していた白石北RCでは会長も経験したが諸事情で退会した翌年に仲間15人で、小さくてもいいから地域に貢献できることを目的とした衛星クラブを発足させたとの事です。

、会議後は希望者だけで親睦を深める制度とし、地元の現職市長も入会し、現在では衛星クラブでありながら、白石市では会員数の一番多いクラブになったと紹介されています。

21頁に、当地区の八田光ガバナーが神戸で開催されたロータリー研修会でジェニファーRI会長との心温まる触れ合いを、「心地よさと配慮」・その通り・と題して投稿されておられます。

今回は地元2670地区に関するものを主に報告させていただきました。次号をもって委員会最後のご報告とさせていただきます。

